

区分・種別	県指定有形文化財（絵画）		
名称	けんぼんちやくしよくかいとうおしょうぞう 絹本著色回塘和尚像 1幅		
所在地	西予市宇和町（愛媛県歴史文化博物館）		
所有者	常定寺	管理団体	
指定年月日	昭和40年4月2日		
解説	<p>この画像は、縦113cm、横55cm、<sup>かいとう</sup>回塘和尚が<sup>きよくろく</sup>曲泉座に掛けた全身像で、「<sup>でんちようでんす</sup>伝兆殿司」の筆によるものと称され、<sup>しょうかいれいげん</sup>性海霊見（東福寺43世）の賛があり、高潔な禅僧の風貌がうかがえる。</p> <p>回塘禅師は西予市宇和町に生まれ、京都東福寺15世虎関師鍊国師に師事し、のちに郷里に帰り、常定寺を創建するにあたって虎関師鍊国師を請じて開山とし、自らは2世となった。明徳3（1392）年、84歳で没した。</p> <p>こうした肖像画は、鎌倉時代から盛んに描かれていたが、室町時代には特に<sup>ちんぞう</sup>頂相と呼ばれる禅僧の肖像画が描かれた。禅宗では、師の肖像画と修道の証としての印可状を与えられることによって、初めて独立が可能であったため盛んに描かれたものと思われる。</p>		

